

明和特別支援学校



正面入口 外観

障がいの重複化、多様化に対応する新しい学習環境とするため、県立養護学校と明和養護学校の2校を統合し、肢体不自由と知的障がいの双方に対応する新しい明和特別支援学校の整備を行なった。

ここで学ぶ生徒は障がいの種類や年齢も異なっているため、それぞれの生徒が利用する区域を明確に区分しつつ、生徒間での交流が行えるように学習ゾーンと共用交流ゾーンの配置を工夫した。

建物には中央にライトコートを設けて各部に均等性のある採光・通風を確保し、学習環境の向上を目指した。

また、内部の仕上げ材には木材(県産)を多用し、安全で暖かみのある空間となるように配慮した。

正面入口には通学用のバスが停車できる大型のキャノピーを配し、開放的な雰囲気となるようなデザインを心掛けた。



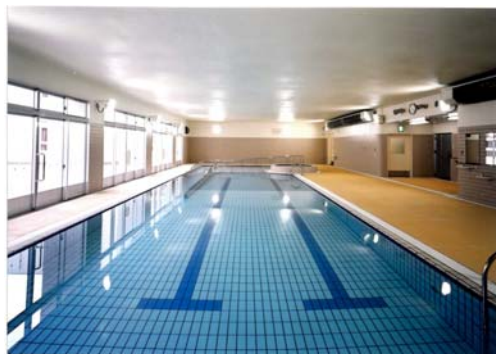
正面玄関



食品加工室







肢体不自由棟 外観



プール



小体育館

-  屋根付車椅子駐車場(3台)
-  車椅子対応トイレ(15ヶ所)
-  車椅子対応エレベーター(3基)
-  太陽光・風力を利用したハイブリット発電装置(1基)

DATA

③教育施設

野々市市中林地内

平成20年7月～平成22年8月

(知的障害棟)平成20年7月～平成21年1月(改修)

鉄筋コンクリート造:地上2F のべ6,889㎡

(肢体不自由棟)平成20年10月～平成21年11月(増築)

鉄筋コンクリート造:地上2F のべ4,647㎡

(総合昇降口棟)平成21年7月～平成22年3月(増築)

鉄骨造:平屋建て のべ316㎡

(体育館棟)平成22年3月～平成22年8月(改修)

鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造:地上3F のべ1,456㎡

(寄宿舎棟)平成22年3月～平成22年8月(改修)

鉄筋コンクリート造:地上2F のべ1,009㎡